

# リラックスコットテントⅡ 取扱説明書

この度はUNIFLAME製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。安全に正しくご使用していただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また読み終わりましたら取扱説明書は保管してください。



- ①テント内では、ガス、ガソリン、灯油、木炭等の燃焼物や燃焼器具を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒、酸素欠乏の危険があります。
- ②テント内でのタバコやキャンドルの使用、またテントのそばでの焚き火や火花は避けてください。テントは可燃性繊維のため、生地の損傷や火災の危険があります。
- ③このテントは、積雪時の使用はできません。また使用中、雪が降りはじめたら速やかに撤収してください。

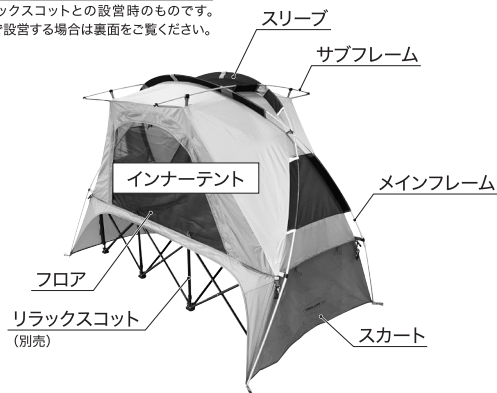
## お出かけになる前に

ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり部品の不具合がないか確認し試し張りをしてください。設営にはリラックスコットが必要です。

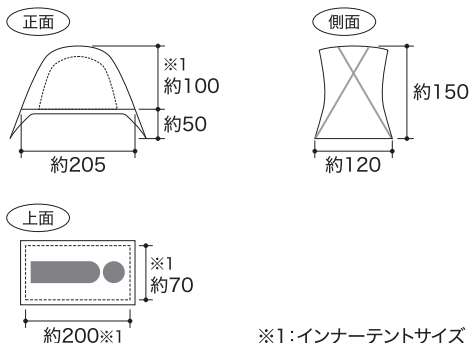
## 主要部名称

### リラックスコットとの設営時

※写真はリラックスコットとの設営時のものです。テント単体で設営する場合は裏面をご覧ください。



## 設営時寸法(単位:cm)



※1:インナーテントサイズ

## 部品表

- ・インナーテント×1
- ・メインフレーム×2
- ・サブフレーム×2
- ・張縄×4
- ・収納ケース(取扱説明書付)×1
- ・フライシート×1
- ・コット用バンド×4
- ・ポールケース×1

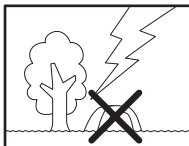
### 別売品:リラックスコット オールブラック

※廃番品のリラックスコットシリーズ、フォールディングコットにも使用できます。

## ⚠ 設営場所の注意

下記の場所では設営しないでください。

カミナリ(THUNDER)



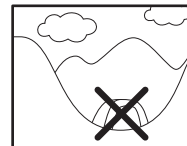
雷危険 開けた場所に1本だけ立っている木は落雷の危険あり。

水(WATER)



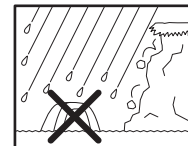
増水危険 河原、中洲は天候(上流の天候も含む)の急変で増水の危険あり。

風(WIND)



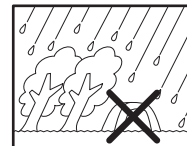
山の稜線上・鞍部は、強風危険 風の通り道になりやすく突風の危険あり。

落石(FALLING STONES)



落石危険 嵐、岩礁、雪渓の下は落石、なだれの危険あり。特に雨が降った後はおこりやすい。

台風(TYPHOON)



暴風危険 使用を中止して安全な場所に避難してください。

## ⚠ 設営時のご注意

- ①設営場所ではできるだけ、平らで水はけが良く、風の弱い場所を選んでください。
- ②テント単体で使用する場合、テント底面にあたる所の石、岩、木の枝などは取り除いてから設営してください。破損の原因になります。
- ③設営はできるだけ2人以上で行ってください。1人で設営した場合、無理な力がかかりやすくフレーム、生地などが破損する場合があります。
- ④常設用としては使用しないでください。紫外線により生地の劣化が早まります。

## メンテナンス

- ①幕体の撥水性が落ちたとき… 長期間の使用で水をはじかなくなったら、幕体の汚れを落とし、市販の防水スプレーを塗布してください。
- ②シームテープが浮いてきたとき… 縫製部のシームテープが浮いてきたときは、アイロンを低温で当てれば再び接着します。完全に劣化した場合は市販のシームテープやシームシーラー(目止め液)をご利用ください。
- ③ジッパーの動きが悪くなったとき… ジッパーの滑りが悪くなったときは、ゴミや汚れを取り除き、潤滑剤かロウを塗り、数回開閉させてなじませてください。
- ④生地の引き裂きキズや穴があいたとき… 市販のリペアテープを使用して補修できます。応急時はガムテープ等で補修しておけば広がりをおさえます。

※フレームが破損した場合 長くご使用の間にフレームが破損した場合、破損部のみ交換修理できます。(有償修理) 直接当社アフターサービス係へお送りください。

### 品質表示

材質/ [フライシート]  
ポリエステルタフタ75D UV-CUTコーティング  
PUコート+撥水加工 耐水圧2,000mm以上  
[インナーテント]  
フロア: ポリエステルタフタ75D PUコート  
耐水圧3,000mm以上  
[フレーム]  
アルミ AL7001 φ8.5mm

MADE IN CHINA

## ⚠ 撤収後のご注意

- ①ご使用後のテントは汚れを落とし、よく乾かしてから日光のあたらない、風通しの良い場所で保管収納してください。濡れたまま放置するとカビや生地の色移り、劣化の原因となります。
- ②海辺でご使用になったときは、水洗いをして塩分を落としてください。塩分が残ったまま放置するとテント生地、フレームの劣化が早まります。
- ③フレーム接続部の砂、土はよく落としてください。接続部にキズがつきフレームが抜けなくなる場合があります。

## アフターサービス

### お問い合わせは

アフターサービスをお申し出になるときは、現象をできるだけ具体的にお願いします。

### 【無償修理規定】

- 1.取扱説明書の注意事項に従った正常な使用状態で故障した場合は、当社が無償修理します。
- 2.故障して無償修理を受ける場合は、商品をご持参、ご提示の上、当社にご依頼ください。
- 3.次の場合は有償修理になります。
  - (イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ)お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
  - (ハ)火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・公害による故障、及び損傷
  - (ニ)通常の使用における経年による劣化
  - (ホ)中古品や非正規店による購入

※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。ご了承ください。

※品質には万全を期しておりますが、万一商品に不具合があった場合や、お気付きの点がございましたら当社までご連絡ください。

株式会社 **新越ワークス**

UNIFLAME 事業部  
UNIFLAME Biz

本 社: 〒959-0223 新潟県糸魚川市田中新1011  
TEL(0256)63-9851 FAX(0256)63-6553

ユニフレムBiz 検索

uniflamebiz.theshop.jp



UNIFLAME Biz

## 設営方法

※設営・撤収はできるだけ2人以上で行ってください。1人で設営した場合、無理な力がかかりやすくフレームや生地などが破損する場合があります。

※設営はできるだけ平らで水はげがよく、風の弱い場所を選んでください。

### コットの上に設営する場合の事前準備

①コットが収縮しないように4隅にバンドを取付けます。



②バンドを短くし、コットを固定します。



### 1 インナーテントを広げます。

●コットの上でインナーテントを広げます。



△ 設営場所が安全な場所であるか再度ご確認ください。

### 2 フレームを取り付けます。

①メインフレームとサブフレームを組み立てます。フレームを広げ、ショックコードをつなぎます。

②メインフレームをインナーテントのスリーブ(黄色)に通します。(3カ所)

③メインフレームの端をインナーテントのグロメットに差し込みます。(2カ所)

④もう一本のメインフレームをインナーテントのスリーブ(茶色)に通します。(3カ所)

⑤1本目と同様に、メインフレームの端をインナーテントのグロメットに取り付けます。(2カ所)

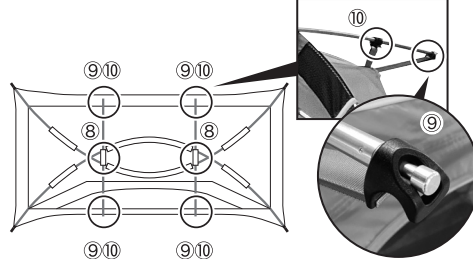
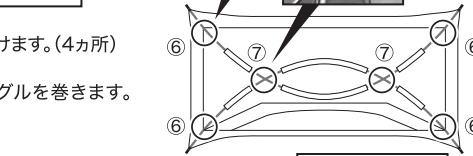
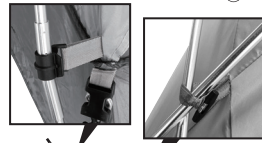
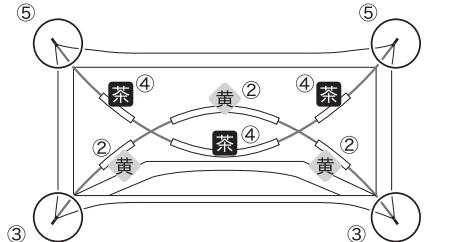
⑥インナーテントのフックをメインフレームのジョイントに引掛けます。(4カ所)

⑦メインフレームが交差している箇所にインナーテントのトグルを巻きます。(2カ所)

⑧サブフレームを天井部のスリーブに通します。(2カ所)

⑨サブフレームの先端を天井部のホルダーに取り付けます。(4カ所)

⑩サブフレームにフックを引掛けます。(4カ所)



### 3 フライシートを取り付けます。

①フライシートを取り付けます。天井部中央に面ファスナーをつけます。(2カ所)

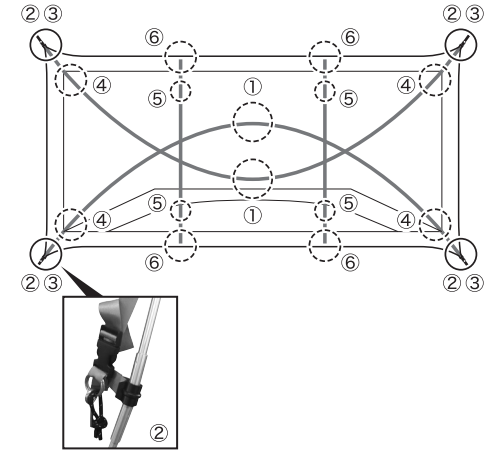
②フライシートの4隅にあるバックルをインナーテントのバックルに取り付けます。

③幕体のたるみが無くなるように、バックルのベルトを引っ張ります。

④フライシートの4隅にある面ファスナーをメインフレームに巻き付けます。(4カ所)

⑤フライシートの天井部にある面ファスナーをサブフレームに巻き付けます。(4カ所)

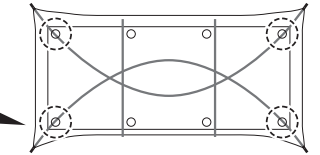
⑥フライシートの天井部にあるポケットをサブフレームの先端に被せます。(4カ所)



### 4 幕体を固定して完成です。

①インナーテントのフロア裏面の4隅にあるフックを使って幕体をコットに取り付けます。

②ご使用状況に応じて張繩、ベグダウンをしてください。



#### ワンポイントアドバイス

下からの冷気がある場合はマットなどを併用してください。

## 撤収方法

■撤収時は設営と反対の手順で行ってください。

### 撤収時インナーテントを逆さにしてフロア底を乾かす場合のご注意

フレームに負担が掛からないように全体を支えるようにして乾かしてください。その際、風の影響が少ない場所で行ってください。不意にフレーム1本に負荷が掛かった場合は破損する恐れがあります。

### テント単体で設営する場合

①メインフレームの両端をグロメットから抜き、1節を外し、幕体の4隅にあるエンドピンをフレームに差し込みます。(4カ所)

②外した節を内側に折り曲げ、スカートを畳みます。

③畳んだ部分をトグルで巻き、まとめます。

④テントの4隅と張繩をベグダウンしてご使用ください。(ベグは別売)

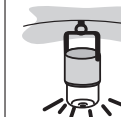


### 結露について

●フライシート内側や、インナーテントフロア側は日中と夜間との気温の温度差が激しい時や湿度の高い時ほど結露が生じます。

●結露によりフライシート内側に付着した水滴が急な雨や風によりインナーテントに落ちてくる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### LEDライト等を吊るす際のご注意



LEDライト等を吊るす際は、軽量タイプをご使用ください。生地に負担がかり劣化の原因となります。